

次期「兵庫県地域創生戦略」の策定に向けた分析項目（案）

Ⅱ 東京に転出した女性のUJターンの促進

1 背景・問題意識

- ・兵庫県では20代の若者のうち、特に女性の転出が拡大している
- ・理由は、女子学生が希望する、情報通信業や専門・技術サービス業といった業種や、総務や企画・広報といった職種は、本社が集中する東京に多く、ミスマッチにより、東京圏の企業で働かざるを得ない状況が作りだされているのではないかと推測しているが、実態が把握できていない

2 想定ケース

兵庫県に居住し、大学卒業後、兵庫県内での就職を希望していたものの、希望する職種の募集が兵庫県にほとんどなかったため、やむなく東京圏で就職した20代の女性

→兵庫県に居住し、大学を卒業した20代女性のうち、

①東京圏で就職した者の割合

②①の者の就業状況（現在就業している産業、職種、満足度）を把握し、兵庫県で就職した者の就業状況と比較

上記②から、本県の産業構造と女性の就業ニーズにどのようなミスマッチが起きているかを分析することで、女性の定着・環流の観点を踏まえた企業・事業所誘致施策や、東京圏からのUJIターンを促進するための効果的な情報提供など、ソフト対策を検討

3 利用データ…就業構造基本調査

ア 22～29歳大卒で本県から東京圏へ転出した女性を抽出

- ・ 1 男女の別…女
- ・ 3 出生の年月…H2年4月～9年3月（22～29歳の者）
- ・ 4 (1) 就学状況…H24年～31年卒業
(2) 学校区分…大学
- ・ 5 (1) 現在の場所に住み始めた時期…H26年4月以降
(2) 理由…仕事の都合（転勤の除く）
(3) 以前の居住地…兵庫県
- ・ 調査区符号が東京圏（東京都、神奈川県、千葉県 ※大東京圏）

イ アの者の現在の就業状況を抽出

- ・ 7 ふだん仕事をしている者
- ・ A1 雇われている人
- ・ D2 最初に仕事に就いた次期 H24年4月～H31年4月以降

ウ 22～29歳大卒で、現在本県で就業している者を抽出

- ・ 1 男女の別…女
- ・ 3 出生の年月…H2年4月～9年3月（22～29歳の者）
- ・ 4 (1) 就学状況…H24年～31年卒業
(2) 学校区分…大学
- ・ 7 ふだん仕事をしている者
- ・ 調査区符号が兵庫県

4 データ集計・分析

① 女性が選好する産業及び職業の分析

- a 3のイ及びウの者について、A2(3)事業の内容から、産業大分類毎に集計
- b " A3 本人の仕事の内容から、職業大分類毎に集計

② 大企業志向の状況

- ・上記4①aについて、A4 従業者数から、以下に沿って大企業、中小企業に分類し、集計

【企業分類】

業種分類	大企業	中小企業	小企業
製造業その他	従業者数 300 人～	同左 20～299 人	同左 1～19 人
卸売業	従業者数 100 人～	同左 5～99 人	同左 1～4 人
小売業	従業者数 50 人～	同左 5～49 人	同左 1～4 人
サービス業	従業者数 100 人～	同左 5～99 人	同左 1～4 人

就業構造基本調査では資本金額又は出資の総額、常用雇用者数が分からないため、従業者数の人数で分類し集計

③ 現在の就業状況の満足度

- ・3のイ及びウの者について、産業大分類、職業大分類毎に、A11 今後もこの仕事を続けたいとした者について集計

※東京圏の就業者の満足度を把握し、潜在的な UJI ターン希望者の総数を把握